

R3年度 小学校算数単元到達度評価問題、B-PLAN 実施校より

今年度も、多くの学校にそれぞれの事業を活用していただきました。実践校では、単元末に問題を解くだけでなく、子どもたちにどんな力が必要なのか、授業の中でどのように力を付けていくのかを事前に考えて教材研究に取り組み、授業を実施されました。それぞれの事業に取り組まれた学校からの声を紹介します。

小学校算数単元到達度評価問題

(令和3年度は東部地区で18校の実施校がありました。)

指導と評価の一体化やPDCAサイクルを確立した校内指導体制の強化を図り、学力向上に役立っています。

実施校になると・・・

- ① 教育局指導主事が、事業内容について説明に伺います。
- ② 実施校の集計結果と「お役立ち情報」が配信されます。
- ③ 数値等が変更されるように Word 形式で問題を配信します。

- 教材研究をする際に何を大切に、どんな力を付けさせればよいか**学年団で話すことで指導内容が明確にできた。**
- 事前に問題を知ること、問題の傾向やつまづきそうな内容が分かり、**教科書の効果的な使い方を意識し、授業での手立てや家庭学習等の指導に生かす**ことができた。
- 活用問題を解くにあたり、**どのような力を授業のどの場面でどういう方法で身に付けるのかを考え、実践する**ことができた。



- ① 教員の教材研究の質が上がった!
- ② 教員の指導力向上に効果があった!
- ③ 児童の学習に向かう意欲が高まった!

学年団や教科担当で教材研究や結果分析を行うことで、教職員同士での学び合いが生まれ、一人一人のスキルアップが図られています。



B-PLAN 問題集

全職員で教材研究をすることで、校内研究体制を活性化させ、教員の教材研究の質向上と授業改善に役立ちます。

実施校になると・・・

- ① 教育局指導主事が、事業内容について説明に伺います。
- ② 指導主事が随時相談に乗ります。
- ③ 授業参観・研究会で助言します。



- ① 全教職員で共通実践できた!
- ② 教員の指導力が高まった!
- ③ 教員の教材研究の質が上がった!

鳥取市立美保小学校：国語（3年目）

- ・付けたい力が明確になり、**ねらいを焦点化して授業づくりに取り組む**ことができ、積み重ねていくことの効果を確認し合った。
- ・各学年で**付けなければならない力を共通理解した**。条件に合わせて書く、推敲する、アドバイスし合うなど、本年度は、**各学年で発達段階に応じてねらいを明確にした実践を行って情報交換することができ、学校全体の取組**になってきた。

鳥取市立青谷小学校：算数（1年目）

- ・単元の**系統性について他学年担任も意識することができ**、授業の中での言葉かけに生かすことができた。「説明する」ことを児童に常に意識させ、ペア学習等を通して思考力、判断力、表現力等の向上を図ることができた。
- ・**算数用語を授業の中で確認し、説明する活動を取り入れる**ことが、思考力、判断力、表現力等の向上につながり、**記述問題で自分の考えを書ける児童の増加**にもつながることを確認した。



まだ活用されていない学校は、来年度の活用をご検討ください。